

要望事項 (優先順位 4)

長谷川（御所谷橋～飛驒の池）の護岸整備

要 旨

現在、護岸工事がされているところと、全くされていないところがあります。護岸工事のされているところでも、足元が削られ非常に危険な場所が多くあります。特に、北西の飛驒の池の一番深い場所の川底がえぐられており、池の水圧で底が抜けてしまうのではないかと危惧しております。

また、川の一部に単管パイプでテラス風にされている箇所があるため、今一度パトロールを行い、行政指導をお願いいたします。

**回 答
(建設局)**

本市では、安定している自然護岸について、積極的に護岸を造ることはしておらず、豪雨等により法面が崩壊した場合や、周辺の民地を浸食するおそれがある場合等について、護岸の構築をすることがあります。

また、現在人工護岸が構築されている箇所については、当該護岸の後背地の利用状況や護岸の損傷程度から総合的に優先順位を判断し、順次補修を行うとともに、今後パトロール等により適正な管理に努めてまいります。

地図

